

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	美しい森林資源を活かした交流体験プログラム創生事業
事業主体 (連絡先)	朝日村役場産業振興課 地域おこし協力隊 (0263-99-2001)
事業区分	(6) オ
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,135,869 円 (うち支援金 : 1,628,000 円)

事業内容

夏から冬にかけて年5回の森林浴ツアーを実施。村内在住の森林セラピスト等ガイドによるコース案内や、ヨガインストラクターを招いての森林ヨガ、スノーシューを使った雪中ガイドウォーク等、季節に合わせたプログラムを組み、リラックス効果の高いプログラムを参加者に提供する。



【7/15 第1回森林浴ツアー】

【目標・ねらい】

- ①森林浴ツアーを実施することによる交流人口の増加。
- ②朝日村の森林・観光資源を活かした体験プログラムの開発。
- ③地域おこし協力隊の活動として地域に貢献できる事業の実施。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

年5回のツアー実施により、今年度は計66名の参加者があった。3年目となった本年では、昨年度と比べ19名の増加となり、順調に効果を上げている。

朝日村の特色あるプログラムとして、自然資源を活かした森林浴、木工、スノーシューなどの体験を提供、また村内のガイドや、地元の素材を使用した料理の提供などを行った。

地域おこし協力隊3名により、隊員が中心となって事業を実施、今後の活動としても継続していけるよう事業実施を図った。

※自己評価【A】

【理由】

予定していた事業を全て完了。参加予約の状況も良好で、交流人口の増加に高い効果があった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

3年目を終え、協力隊を中心に事業実施体制も整い、事業も前年度より成果が出ています。また、朝日村では観光協会が発足したことにより、来年度からは観光協会とも協力をして事業を実施していくことが可能となりました。元気づくり支援金による事業実施は今年度で終了となりますが、今後も継続して事業を行い、村の観光産業の発展、交流人口の増加に貢献していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある